■ 海　岸

■ 釧路・根室地方は海岸線が長いため、潮流・波浪による侵食・決壊を受けやすく、地震による津波の発生が懸念される地域でもあるため、高潮や津波などに備えた海岸保全施設の整備を進めています。

■ また、自然豊かで潤いのある海辺を創造するために海辺の環境整備事業等を進めています。

生命･財産を守る保全施設整備

津波・高潮・波浪による海岸の侵食や決壊などから国土を保全するため、護岸・突堤・消波堤などの施設の整備を行っています。

≪海岸町海岸(羅臼町)≫

整備前(越波状況)

整備後(護岸整備後)

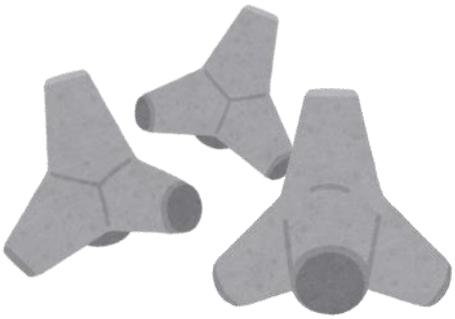
≪尾岱沼漁港海岸(別海町)≫

整備前(高潮浸水状況)

整備後(護岸整備後)

東日本大震災を契機に設定されたＬ1津波（発生頻度が高く、津波高は低いが大きな被害をもたらす津波）を基準として人命や財産を守るための堤防整備を進めています。

【昭和35年5月 チリ地震で発生した津波の襲来(浜中町)】



【霧多布海岸(浜中町)】

老朽化した施設の機能回復

築造から長期間経過している海岸護岸において、剥離・断面欠損などの老朽化により施設機能が低下している状況にあることから護岸の老朽化対策を計画的に行い、海岸保全施設の機能の回復又は強化を図るための施設整備を進めています。

≪標津海岸(標津町)≫

整備前(護岸断面欠損状況)

整備後(護岸整備後)